

平和の人形使節^{たまたこ}

「長崎瓊子ものがたり」—こどもは世界の宝

▽日 時 平成15年3月3日（月）午後7時30分～9時

▽場 所 島原市霊南 島原市保健センター

▽講 演 「長崎瓊子ものがたり」

▽講 師 横浜人形の家 専門委員 武^{たけふみこ}文子先生



武文子先生プロフィール

先生は長崎市のご出身で、現在は横浜市にお住まいです。55年以上も前から、人形の研究、製作を続けられ、また、「横浜人形の家」設立にご尽力、現在は専門委員として研究、指導に活躍しておられます。「人形交流」にもご熱心で、今回の里帰りにも、たいへんお世話下さいました。瓊子の妹人形の製作をされ、また、第一小学校の青い目の人形、リトルメリーの修復もして下さい予定です。

昭和の初め、日米のこどもたちや、国民の平和への祈りを込めて交換した友好親善の「人形使節」たちの再会、「島原展」の日が近づいてきました。

当時険悪であった、日米関係を、先ず、こどもたちの心から和らげ、大人たちにも理解してもらおうという「人形交換」の事業は、両国のこどもたちや国民に熱狂的な歓迎を受け、大きな成果を挙げました。

その後、再び関係は悪化し、ついに不幸な戦争へ突入し、両国とも大きな災禍を受けました。そして、青い目の人形たちも壊されたり、捨てられたり可哀相な運命にありました。

長崎から贈られた「瓊子」はアメリカの博物館で保存され、76年ぶりに里帰りで長崎にやってきます。そして、各地に生き

残った貴重なアメリカ人形と一緒に、4月3日より8日まで島原市で展示が行われます。

この機会に、人形研究家で、瓊子の発見に大変ご尽力下さった武文子先生に「瓊子ものがたり」をおうかがいすることになりました。ちょうど、3月3日の「雛（ひな）祭り」にあたります。

今また、戦争の危機が目前に迫っている国際情勢の中で平和を願い、世界の宝であるこどもたちを戦火から守るために、76年前の平和の人形使節のことを学び、心を和らげてもらい、戦いを防止したいと祈るものです。

どうか、お繰り合わせ、お誘い合って、多数ご来場のほどご案内いたします。

主 催 島原市民文化講座 島原文化連盟 島原市教育委員会
長崎瓊子「ミス長崎」里帰り展実行委員会

